

第1回

シグニス動画 フェスティバル

授賞式 & トークイベント

2025 5.3 土・祝

14:00 ▶ 16:30



①お申込みは
こちらから

会場

イエズス会岐部ホール404号室

東京都千代田区麴町6-5
カトリック麴町〈イグナチオ〉教会隣接
※オンラインでの参加も可能

14:00 授賞式

15:00 トークイベント

「これからのキリスト教宣教と動画の使命」

「第2回シグニス動画フェスティバル」概要発表

16:30 終了、その後懇親会（自由参加）

「聖書動画コンテスト」（日本聖書協会主催）に代わって新たに始まった「シグニス動画フェスティバル」、初めての授賞式を行います。あわせて、今回審査にあたった審査員によるトークイベントを開催します。

今回の動画フェスティバルの振り返りと、これからのキリスト教動画の未来、動画がもたらすメッセージの強さと魅力などを縦横無尽に語っていただきます。今回フェスティバルに応募しなかった方も参加可能ですので、ふるってお申込みください。

審査員&スピーカー



酒井俊弘

カトリック大阪高松大司教区補佐司教、
SIGNIS JAPAN顧問司教



松本准平

映画監督



岸本景子

映画監督



片岡賢蔵

牧師/動画伝道ネットワーク主宰



2025年聖年公式キャラクター（ルーチェ）

第2回シグニス動画フェスティバル開催決定！

テーマ「旅、巡礼、希望」

作品募集期間：5/4(日・祝)～11/30(日)

「シグニス動画フェス」で検索orQRコードを読み取ってね！



カトリック広報担当司教賞

「Luis de Almeida 500年目の巡礼」ルイス・デ・アルメイダ研究会 乃木リリー



この作品を選んだ理由は、カトリック教会が祝っている2025聖年のモットーである希望の巡礼者に関連付けて、生誕500年を迎えたルイス・デ・アルメイダにスポットを当てた点です。作品中に登場するように、大分市内には西洋外科医術開祖としての記念碑があり、彼の名を冠した病院もありますが、教会内外に広く知られている人物ではありません。豊臣秀吉による伴天連追放令や徳川幕府による禁教令が出る前に病没したアルメイダは、殉教者たちの影に隠れた存在と言えるでしょう。彼の足跡が生月や横瀬浦に残っていることや、墓所の発掘による新たな発見が期待されることが盛り込まれているのも評価されます。今後も研究の成果が発信されることを期待しています。(酒井俊弘)

シグニス大賞 「あの日の青島」 玉田小右



〈神は私たちと共におられる〉。現実をあくまで客観的にだけ観察する「カメラ」という機械を使って、この真理をどのように明確に映し出すか。映画の作り手として最も頭を悩ますこの核心に、『あの日の青島』はたった二つのショットで、しかもこれ以上ない力強さで答えている。この映画の美しいショットはいずれも、機械の眼差しを越え、作り手の作為すら凌駕して、神がその場に共にいて一人ひとりを眼指しているかのようなのである。この福音的な映画は、驚きながら見続ける私たちをも、満ち溢れる愛で優しく包みこんでくれる。(松本准平)

日本聖書協会賞 「映画予告風“福音”」 辻勇輝



私ども日本聖書協会は「すべての人に聖書を届けること」をミッションとしており、日本で聖書を普及させるという事業を始めて150年の記念の年を迎えています。この作品の最後の言葉、「さあ今こそ聖書を開こう。そこに書かれている希望のメッセージを受け取ろう。聖書はあなたの人生を根底から変えるのだから…。」には、私たちの願いが凝縮されています。その共感が今回の授賞の理由です。おめでとうございます。(日本聖書協会)

OBSBOT賞A 「テゼ: 録音会 “新しい歌” – New songs from Taizé –」 日本福音ルーテル箱崎教会 和田憲明



教派や、未信者等あらゆる垣根を超え、新しく生まれたテゼ曲を練習しに集まった。インタビューと集まった人たちの練習風景から成るシンプルな構成のものだけれどとても胸が熱くなりました。というのも、以前、生きることが辛くなって「神様はどこに居ますか？」との問いに、神父様から「神様は人と人との間に居るんだよ」と教えていただいたことがありました。その言葉のように、新しいテゼ曲の誕生によって普段交わることのない人たちが繋がり、皆の声が木霊して聴く人たちの魂をも震わしていく。改めて神様の介在を見ることが出来た気がしました。(岸本景子)

OBSBOT賞B 「ライブストリーミングの成長」 日本ナザレン教団 ピースコミュニティチャーチ 旭川神居伝道所 定池広季



動画づくりの初めの一步は、まず完成させることと教わったことがあります。どんな形であれ完成品を発表しなければ何も始まらないのです。圧倒的多数の人が完成させられずに去っていきます。その中で一歩ずつ次のステップへと成長していくことの喜びを思い起こさせられる動画でした。パワポがめくられる度に、礼拝のライブストリーミングが成長していく姿に心動かされます。福音を宣べ伝えたい衝動が動画づくりの衝動を湧き起こしているからこそその力強さに励まされます。(片岡賢蔵)

キリスト教動画伝道ネットワーク賞 「聖書将棋 (放蕩息子)」 萬代恵嗣



この動画をどうしたら人に見てもらえるだろうとよく考えられていて、とてもユーモラスな動画です。将棋の解説動画というフォーマットに則って進んでいくので、何と言っても見やすい。後半の弟から悔い改めに胸が成って新しい道筋が見えて来る展開には思わず、オーッ！って声が漏れました。角の動きって、なぜだか気持ちいいですね。主イエスの語りの面白さを視覚的に味わう喜びがありました。ぜひこのシリーズで続編を作り続けていただきたいです。(片岡賢蔵)